

鈴虫 陽・保・言・麦・阿)

12 91 01 夏ころ 夏のころ言麦阿

12 91 01 はちすの花の 蓮の花言

12 91 01 入道のひめ宮 入道の宮保

12 91 01 御ち仏とも 御ち仏とも保 御持仏堂とも麦

阿

12 91 01 あらはし給へる あらはれいてたまへる陽

阿

12 91 01 くやうせさせ給く やうし奉らせ給言

12 91 03 はたのさまなと はたのさまなと陽 はたな

とも麦阿

12 91 03 なつかしう なつかしく陽保言 ナシ麦

阿

12 91 03 心ことなる 心こに言 心ことなる麦

12 91 04 からのにしきを からのにしきなどを保 唐の

にしき阿

12 91 04 えらひとんの言

12 91 04 むらさきのうへそ むらさきのうへそは陽

12 91 05 などのなと陽保言麦阿

12 91 05 おかしきめそめも をなしきそめさまも陽 お

なしめそめなれと保 なへてならぬおかしき

かつその言をなしき色をそめ給も麦阿

12 91 05 にほひにほひを保 にほひに麦阿

12 91 06 よるよひ陽 まへ言

12 91 06 みぢみぎちやう陽 御丁言麦阿

12 91 07 あけてあけわたして保

12 91 07 ほ花のまたら 法花のまたら陽保麦阿 法花

12 91 07 奉りて たてまつり保言麦阿

12 91 08 はなの色を 花を陽麦阿 はなのえたを保 蓮

の花を言

12 91 08 とへのへて ナシ陽保麦阿

12 91 08 奉りたてまつりて言 たて麦阿

12 91 08 名かうに名かうには陽保言麦阿

12 91 08 からの ナシ言

12 91 08 百部のくのえかう 百分のえかう陽 百ぶの

くんえかう保

12 91 08 たき給へり たきたり言

12 91 09 阿弥陀仏あみたの三尊麦阿

12 91 09 けうしのほさち 四けうのほさつ陽保ほさ

つ 菩薩保 地藏ほさつ言 ナシ麦阿

12 91 09 白たんして 五たい言 百たんして保 ひさし

うして麦阿

12 91 09 奉りたる 奉る言 たて給へる麦阿

12 91 10 うつくしけ をかしけ言

12 91 10 ちいさくて をかしけにて言

12 91 10 しろき しろきの保 ナシ麦阿

12 91 10 むらさきの ナシ保

12 91 11 蓮 はちす陽保言 ちす麦阿

12 91 11 かえうのほつ かよつのはつ言

12 91 11 名かう 名かうを保

12 91 11 みちをかくしほるけて みつをかくしほる

けて保 みつをかくしほるけて言 ナシ麦

阿

12 91 12 ひとつかをりにをりに保

12 91 12 にほひ ナシ保言

12 91 12 なつかしなつかしう麦阿

12 91 12 衆生のため 空たのめ阿

12 91 13 給て 給保 給へり言

12 91 13 御持経 御経麦阿

12 91 13 給ける 給へる保言

12 91 14 けちえにて けちえんにて陽保言麦阿

12 91 14 みちひき みち麦阿

12 91 14 心はへ陽言 ナシ麦阿

12 91 14 願文にくわんもんにも保 願文には麦

阿

12 92 01 さてはさて言

12 92 01 あみた経 阿弥陀経は言麦阿

12 92 01 からのかみはからのかみには保

12 92 01 もろくて もろつて陽

12 92 01 御てならしにも 御てならしには麦阿

12 92 01 いかとて いかとおほして保言 ナシ麦

阿

12 92 02 かむやの人を かんやの人陽保 かむや人を麦

阿

12 92 02 おほせこと おほせ保

12 92 02 給て たひて言

12 92 02 こころごとくにいと心こに保

12 92 02 すかせすかせさせ陽

12 92 04 人ノ人 人は言

12 92 04 めもめ麦阿

12 92 04 かゝやきまとひ給かゝやきてなん保

12 92 04 けかけたる けかきたる陽

12 92 04 すちすちノ保

12 92 04 すみつきの すみつき言

12 92 05 などもいとなむなどはいと保なんいと  
 言  
 12 92 05 めつらかなりけるめつらかなんありける  
 保  
 12 92 06 かしこれはことにナシ麦阿  
 12 92 06 ことに心ことに言  
 12 92 06 花そくのつくゑそこのはなつくゑ陽くゑそ  
 くのつくゑ言けそくのつくゑ麦阿  
 12 92 06 仏の 仏陽  
 12 92 06 御おなしちやうたいをなし帳たい陽おな  
 し御ちやうたい言おはしますちやうたい麦  
 阿  
 12 92 07 かさらせ かさらね陽保言  
 12 92 07 たう 導師麦阿  
 12 92 07 かうし 導師麦阿  
 12 92 07 行かうの人ノまいつとひ ナシ麦阿  
 12 92 07 行かうの 行道の陽 行香の保言  
 12 92 08 給へは 給へは言  
 12 92 08 いて いてさせ陽  
 12 92 08 給とて 給ひて言  
 12 92 09 のそき さのそき言  
 12 92 09 御しつらひににるせくあつけなるまで 御  
 よそひににひせきまでめつけに言  
 12 92 10 ことノしく ナシ言麦阿  
 12 92 10 北のひさしのきたのひさし言  
 12 92 10 すのこまで こなたのすのこなごに言  
 12 92 11 わらはへ わらは麦阿  
 12 92 11 などは こほれいて言 なんと麦阿

12 92 11 ひとりともひとゝも陽 ひとり保 ひよりと  
 も阿  
 12 92 11 けふたきまで ナシ麦阿  
 12 92 12 空にたくはそこにたくかは麦阿  
 12 92 12 いつくの いつこの保麦阿  
 12 92 12 けふりそとけふりと陽保 けふりそなと麦  
 阿  
 12 92 12 思ひはかれぬおもひわかれぬ陽保言麦  
 阿  
 12 92 12 こそこそは麦  
 12 92 13 みねよりも山よりも麦阿  
 12 92 13 くゆりみちいてたるはくゆりいてたる陽  
 麦阿くゆりいつるは保くゆり出たるは言  
 12 92 13 かうせちの 又かうせちの陽 またかうはんの  
 保 又かうせちなる麦阿  
 12 92 13 おりは おりには保  
 12 92 14 おほかたの 大殿方(の)の麦  
 12 92 14 なりをしつめてなりをもとめて保  
 12 92 14 心も 心をも陽保麦阿  
 12 92 14 きゝわくゝきことなれは きゝわくゝき心ざし  
 こそことなれ保 きゝわくゝき事なれ阿  
 12 92 14 はかりなきはかりなき陽 はかなき麦  
 阿  
 12 93 01 しつめてしめりて陽保麦阿  
 12 93 01 よかるへきよか覽陽麦阿  
 12 93 01 なんと保  
 12 93 02 よういをしへ給 しよういをし給陽 しよういをも  
 をしへ給保 しようけともをしへ給言

12 93 02 おされ給てをされて言  
 12 93 02 いといと保  
 12 93 02 おかしけにて あへかにて言  
 12 93 03 ひれふしよりふし保言  
 12 93 03 わかきみきはもなくあてにうつくし若君の  
 言わか君そ麦阿  
 12 93 03 なんと陽  
 12 93 03 の給のたまひて陽保言麦阿  
 12 93 04 みさつし 御さつし麦阿 御さつし阿  
 12 93 04 とりはなちて とりはなち給て麦阿  
 12 93 04 みす みすを言  
 12 93 04 人ノみな人ノ言  
 12 93 04 いれ給しつめて いれしつめたまひて保麦  
 阿 いれ給てしつめて言  
 12 93 05 宮にも宮に麦阿  
 12 93 05 しりきしり言  
 12 92 05 おまし 御まし陽  
 12 93 06 ゆつり ゆつりきこえ保言  
 12 93 06 御しつらひ 御しつらひを保 御さまを麦  
 阿  
 12 93 06 給も 給にも保  
 12 93 06 さまノにさまノにあはれなり保言  
 12 93 06 かたの ナシ保  
 12 93 06 御いとなみをも 御いとなみを保言麦阿  
 12 93 06 もろともにもろとんに保  
 12 93 08 かの 此麦阿  
 12 92 08 中の なかの陽言  
 12 93 08 やとりにやとり陽

12 93 08 へたてなくとをへたてなくと陽へたてなく

もと言へたてなくはと麦阿

12 93 08 おもほせおほせ言麦阿

12 93 08 給ひぬ給て麦阿

12 93 09 おなしうてなとおなしうてなに麦阿

12 93 09 露のわかるゝ露の別ゝ言

12 93 09 けふそかなしきとけふそかなしき言麦

阿

12 93 09 御すゝりにさしぬらして御すゝりのちかき

をひきよせて麦阿

12 93 10 かきつけかき陽

12 93 10 給へり給言給へれば麦給へは阿

12 93 11 はちすのやとを蓮のうへを麦阿

12 93 11 君か心や君か心よ陽

12 93 12 いふかひなくもいふかひなく言

12 93 12 おもほしくたすおほしくたく陽保おほしく

たしてける言

12 93 12 かなとかなとて言

12 93 12 うちはらひなからうちわらひなから陽保麦

阿うちわらひ給物から言

12 93 12 あはれと物を哀にあかす言物哀と物を麦

阿

12 93 13 おもほしたるおほしたる陽

12 93 13 みこたち御子立麦阿

12 93 13 いとナシ阿

12 93 13 あまたおほく麦阿

12 93 13 まいり給へりまいり給へりとみにもえいて

給はすと斗おはします御めのとたちふるき人

／＼なといまさらになしき事を思ひつゝ

ちなきあへり東の中の御さうじくちに御まし

あれはそなたにわたり給ぬ言

12 93 14 われも／＼我も／＼も言

12 93 14 いとなみいていとみいて陽保言いとみいて

みいて陽いとみい麦阿

12 93 14 ほうもちの御ほうもちの言ほうもちの

ノ上カラち書ク阿

12 93 14 有様ありさま陽保言阿

12 93 14 心ことにこころ／＼に保

12 94 01 むらさきのうへむらさきのうへそ保

12 94 02 給へり給へる保給へは麦阿

12 94 02 までまでも保

12 94 02 なへてならすなへてのさまならす保

12 94 03 めてけりとやめてあひけり麦阿

12 94 03 むつかしうごまかなること／＼もかなナシ麦

阿

12 94 03 むつかしうむつかしく陽

12 94 03 かうしたうし麦阿

12 94 04 心をこころ保麦阿

12 94 04 このよにこのよの陽

12 94 04 さかりさかへ保御さかり言

12 94 04 はなれ給てはなれて阿

12 94 05 ほけ経に法花に陽あみた仏の御手のいと法

花経にも麦阿

12 94 05 むすひむすひとめ陽保麦阿

12 94 05 たゝいまのよのたゝいまの世に陽保言麦

阿

12 94 06 さえさかへ言

12 94 06 ゆたけきさきらをよたけきさきの事のちの

世麦阿

12 94 07 みな人みな人／＼陽保麦阿

12 94 07 しばたれしほれば保

12 94 07 これはたゝしのひてナシ麦阿

12 94 07 これはおとゝましてえしのひ給はぬけはひ

世われは言

12 94 07 たゝしのひてたゝいとしのひて陽保

12 94 07 御ねんすたうねんすたう陽麦阿

12 94 07 はしめとはしめはかりと陽麦阿はしめはか

りにと保はしめなと言

12 94 07 おほしたるおもほしたる保

12 94 08 山のみかともやまのみかとも陽

12 94 09 御す経のふせみすきやう僧のふせ陽言麦阿

「みすきやう御す経言麦阿御す行とも七そ

うのふせ保

12 94 09 いとナシ麦阿

12 94 09 までまで陽

12 94 09 ひろこりけるひろこりにける言

12 94 09 院に院にも陽

12 94 09 まうけさせ申させ麦阿

12 94 10 給へりける給へりけり陽給へる保給麦

阿

12 94 10 こと／＼も／＼事とも陽

12 94 10 そくとおほししかとナシ麦阿

12 94 10 おほししかとおほしくかう陽おもほしくか

とも保

12 94 10 майいてナシ保

12 94 11 いまめかしきいかめしき保麦阿

12 94 11くはゝりたればましてくはゝりたりければ  
 保  
 12 94 11てらに寺に言  
 12 94 11をき所なけなるをき所なき麦阿  
 12 94 12なりてなり言  
 12 94 12ともはとも麦阿  
 12 94 12御心御おもひ保  
 12 94 13きこえたてまつり保  
 12 94 13院のみかと経なともみつからをしへ聞え給  
 又さるへきあまたちの齋院のあたりなにて  
 さへふかく物よくならひて人からもいやしか  
 らす心はへあるなをとたつねとりてさゝはせ  
 て物ならはせ給へくおほしをきてたり世中を  
 ひとへにおほしあかりあそひたはふれことに  
 うつり給しきしかたこそすこしいわけたる事  
 もおはしましけれかのうき事をも人しれすお  
 ほしり我御心つからのとかにはあらねと猶  
 心つかひすへき世にこそありけれなとおほし  
 わく事ともありていとかくのとかに御おこ  
 なひをし給山の御門言  
 12 94 13このかの言  
 12 94 13御そつふん御せつふん陽御そふん保そつ  
 ぶ麦阿  
 12 94 13すみはなれいまはすみはなれ保言  
 12 94 14給なんも給なんこそ言  
 12 94 14めやすかりぬへくめやすかりぬへくと言め  
 やすかるへく麦阿  
 12 94 14きこえおもほしきこえ保  
 12 94 14おほつかなかるへしおほつかなかりぬへし

12 95 01きこえつけ給はらむうけ給はん陽きこえう  
 陽  
 けたまはる保聞えつけ給らん麦阿  
 12 95 01ことごとを麦阿  
 12 95 01をこたらむにほいたかひぬへしをこたらん  
 ことほいたかふへし陽  
 12 95 02世よのこなた陽保麦阿世恒校合力言  
 12 95 02いくはくいくはくも麦阿  
 12 95 02あるましけれとなるましけれと保  
 12 95 02かきりよのかきり保  
 12 95 03はてしはてすは麦阿  
 12 95 03給つゝ給て陽麦阿給宮はおそろしかりし御  
 事のなこりなやましうおほされておこなひな  
 ともけさやかにえつとめ給はす御念仏はかり  
 のすゝひきかくしてゐ給へるをいまはかゝる  
 かたの御ありさまにしるし奉りて言  
 12 95 03このかの陽保言麦阿  
 12 95 03いとこまかに今すこし麦阿  
 12 95 03きよらにきよら言きよらにこまかに麦  
 阿  
 12 95 04給ひ給て陽保給言麦阿  
 12 95 04みふ御せつふ麦阿  
 12 95 04みさつみまき御しやつ御まき陽言御し  
 やう御さつ言みまき保御さつみまき麦  
 阿  
 12 95 04なとなどの保  
 12 95 04より奉る物ともナシ保  
 12 95 04奉るまてまつる言  
 12 95 05さまのはさまのものはたてまつるまゝに

12 95 05かのナシ陽麦阿  
 保  
 12 95 05三條の宮三條院麦阿  
 12 95 05みくらに御くらに陽言麦阿みくらともに  
 保  
 12 95 05おさめさせをさめ陽麦阿  
 12 95 05たてそへ奉りそへ麦阿  
 12 95 06御たから物御たから言  
 12 95 06御そつふんに御せつふんに陽御そふんにも  
 保御せつふも麦阿  
 12 95 06たまはり給へるなと給はりつる麦阿  
 12 95 07物御もの陽  
 12 95 07はこひわたしはこひわたしよろつくすま  
 しうゆくすゑの御ありさまをおほしやりつゝ  
 言はこひをかせ給麦阿  
 12 95 07いかめしういかめしく保麦阿  
 12 95 07しをかせしをき陽  
 12 95 08女房のことゝも女房の事陽女房のことゝも  
 を保女房よゝもの麦阿  
 12 95 08御あつかひにて御いとなみにて言あつかひ  
 に麦御あつかひに阿  
 12 95 09なとなん陽保麦阿ナシ言  
 12 95 09いそきつかまつらせ給けるし給言  
 12 95 09秋ころ秋の比麦阿  
 12 95 09中のなかの言  
 12 95 10へいのへい陽へいことに麦阿  
 12 95 10きはをきは陽保  
 12 95 10たなゝとたなゝんと陽たなくと麦  
 12 95 11そのかたにそのかたのしつらひに保

12 95 11 御しつらひ ナシ保  
 12 95 11 したかひしたひ陽保言麦阿  
 12 95 12 きこえたる 聞え給へる麦阿  
 12 95 12 あまとも あまとん保  
 12 95 12 さかりのも さかりのひとゝもゝ保 さかりの  
 物の麦阿  
 12 95 13 かきりは かきりを保  
 12 95 13 なさせ給ける なさせ給へりけるとノ上カラ  
 なヲ書ク陽  
 12 95 13 さるきをいには さるきほひに陽 さるへきほ  
 いには麦阿  
 12 95 14 われもノゝときしろひけれと われもノゝき  
 しろひけれとも麦  
 12 96 01 心ならぬこゝろさたまらぬ保  
 12 96 01 すこしもましりぬれは すこしましりぬるは  
 陽  
 12 96 01 かたへの人 かたえの人ノゝ保 かたえの心  
 言かたへの阿  
 12 96 01 くるしうくるしく保  
 12 96 01 あはノゝしききこえいてくる あはノゝしく  
 聞え出る麦阿  
 12 96 02 はかりのほと はかり保  
 12 96 02 ことにては ことにて陽  
 12 96 03 すこし ナシ保言  
 12 96 03 すゝしくすゝしう陽  
 12 96 03 夕暮に ゆふくれノゝに陽 夕に言 夕暮麦阿  
 12 96 03 わたり給つゝ わたりたまへは陽 わたらせ給  
 て言

12 96 04 むしのねを 虫のね言 むしのねもしけく麦  
 阿  
 12 96 04 やうにて やうにてのとやかに おはします御  
 物かたりなと聞え給に言  
 12 96 04 さまを さまに言を麦  
 12 96 04 給へは 給へれば言麦阿  
 12 96 05 れいの御心は ナシ保 れいの御心には  
 言  
 12 96 05 こそは こそ言  
 12 96 05 あなれと あなれと陽と言  
 12 96 05 むつかしきことに おもほしとりていとむつ  
 かしきものに保言 おもほしおほし言  
 12 96 06 人めに 人め陽 めに麦  
 12 96 06 かはることなく かはるとんなく保  
 12 96 06 もてなしもてなしきこえ陽 もてない  
 言  
 12 96 06 うちうへ陽 うちノゝ保言  
 12 96 07 気色 御けしき陽  
 12 96 07 するくしるう陽 くるしう言  
 12 96 07 こよなう こよなく保 ナシ麦阿  
 12 96 07 かはりにし かはりにむしノ上カラにヲ書ク  
 阿  
 12 96 07 いかて いかてか陽  
 12 96 07 御心 心麦阿  
 12 96 08 おほつは おほくは保麦阿  
 12 96 08 思ひなり給にし 思給也にし麦阿  
 12 96 08 いまは いまはと保言  
 12 96 08 もてはなれてもてはなれ言阿  
 12 96 09 心やすきに 心やすき陽

12 96 09 なときこえ給そ 聞え給には言 聞え給そ麦阿  
 12 96 09 くるしうて くるしくて麦阿  
 12 96 09 人はなれたらむ 人はなれぬらん陽  
 12 96 09 御すまひにも 御すまも保  
 12 96 10 おほしなれと おもほしなれと保麦阿 おほせ  
 と言  
 12 96 10 えさも 猶えさも陽 えさしも保言  
 12 96 10 しひ申給はず 申させ給はず陽 申給はずさふ  
 らふ人もさこそ世をそむきけれとむ下にもて  
 はなれつ御まめけはありかたしとおほしける  
 言しめて申給はず麦阿  
 12 96 10 十五夜の 十五夜の月の又またかけかくした  
 る保 十五夜の月のいまた影かくしたる言十  
 五夜の月またかけかくしたる麦阿  
 12 96 10 夕暮に ゆふくれのほとに保言  
 12 96 10 御まへ 御前陽 おまへ保麦阿  
 12 96 11 宮 みやは保  
 12 96 11 おはして おはしましてすこし保言  
 12 96 11 はし ナシ陽  
 12 96 11 ちかう ちかく保麦阿  
 12 96 11 なかめ給ひつゝ なかめつゝ陽麦阿 なかめて  
 言  
 12 96 11 ねんす 御をこなひ保  
 12 96 11 あま君たち あまたち陽  
 12 96 11 二三人 二三人仏に言 二三人はかり麦  
 阿  
 12 96 12 きこゆる きこゆ陽保麦阿  
 12 96 13 そゝきあへる そゝきあへるも保麦阿 そゝき

はしる言  
 12 96-13 あはれなるに哀にみゆ言  
 12 96-13 いとしけういとしけく保いたう言いと  
 しけく麦阿  
 12 96-14 ゆふへ夕暮言  
 12 96-14 かなとてかなと麦阿  
 12 96-14 うちすんしねんすし言  
 12 96-14 大す大しゆ言大呪麦阿  
 12 96-14 いとたうとくナシ言いと麦阿  
 12 97-01 けにけにいとたうとし言たうとき事かきり  
 なき中に麦阿  
 12 97-01 こゑノゝきこえたるなかに鈴虫のふりいてた  
 るほとはなやかにおかしナシ麦阿  
 12 97-01 なかに中に保言  
 12 97-02 秋の虫のこゑ秋むしのこゑ陽秋のむしの音  
 言すゝむしのこゑ麦阿  
 12 97-02 いつれとなきいつれとなくおかしき言  
 12 97-02 中になかに陽中にも言に麦阿  
 12 97-02 まつ虫なんまつむしのなん陽いとむつまし  
 つなん麦阿  
 12 97-03 はるけきいとはるけき保言  
 12 97-03 わけてわけつゝ言  
 12 97-03 いとわさとナシ陽わさと保言  
 12 97-03 給へる給に陽給るに保給にし言給にも麦  
 阿  
 12 97-03 するくなきつたふる松むしの声麦阿  
 12 97-04 すくなかなれすくなかなれ陽すくなかめ  
 れ保  
 12 97-04 はかなきすくなかるへき言

12 97-04 むしにそあるへきむしにやあらんいとまれ  
 にほのめくねなとけにこそことなるを保む  
 しにこそ有けれ麦阿  
 12 97-05 はるけきのゝまつ原にはるけき野の松はら  
 け削り保はるけきのへなとに言はる  
 けき松はらなとにては麦阿  
 12 97-05 こゑおしまぬもいとへたて心あるむしにナ  
 シ陽  
 12 97-05 こゑこゑノ保  
 12 97-05 おしまぬもをしまぬもるぢ なり削つてぬ  
 もり書ク保  
 12 97-05 おしまぬもいとへたて心をしまぬ物をへた  
 て心の麦阿  
 12 97-06 ありける有けるかな麦阿  
 12 97-06 心やすくいとこゝろやすく保  
 12 97-08 しのひやかに忍ひて言  
 12 97-09 の給ふの給さま麦阿  
 12 97-09 なまめいてなまめきて保  
 12 97-09 いかにとかやいかにとか保麦阿いかにノ  
 とかや言  
 12 97-09 いていと陽言いてや保麦阿  
 12 97-09 おもひのほかおもひのほる阿  
 12 97-10 御ことに御返に陽御ことにて保事に麦  
 阿  
 12 97-11 草のやとりを草のいほりを言麦阿  
 12 97-11 聞え給てきこえ給保の給て言  
 12 97-12 めつらしくめつらしく麦阿  
 12 97-12 ひきたまふかきならし給言  
 12 97-12 御すゝ御すゝのも言

12 97-12 給てにて阿  
 12 97-12 御ことになをこゝろいれ猶御心はことにと  
 めに力言  
 12 97-12 御ことに御琴に麦阿  
 12 97-13 なをなを麦  
 12 97-13 こゝろ御心麦阿  
 12 97-13 さしいてゝいとほなやかなる花やかにさし  
 出て言  
 12 97-13 いとナシ麦阿  
 12 97-13 はなやかなるはなやかなり保  
 12 97-13 あはれなるに哀なる言  
 12 97-14 世中おほかたの世の保  
 12 97-14 さまノにつけてはかなくさまノにつけ  
 てはかなう陽はかなくさまノ言さまノ  
 につけてはかなくも麦阿  
 12 97-14 ありさま有様麦  
 12 97-14 おほしおもほし言麦阿  
 12 98-01 ねにねを麦阿  
 12 98-01 こよひ今夜言  
 12 98-01 御あそひにや御あそひや陽保言阿あそひや  
 麦  
 12 98-02 おしはかりておしはかり給ければ麦阿  
 12 98-02 兵部卿の宮兵部卿宮陽麦阿兵部卿の宮そち  
 の宮言  
 12 98-02 はたりわたり陽保言麦阿  
 12 98-02 給へり給に陽  
 12 98-02 大将のきみ大将君陽  
 12 98-02 殿上人のてむ上人陽麦阿  
 12 98-03 くしてして陽麦阿

12 98 03 こなたにこなたになん保言

12 98 03 おはしますと御ことのねをたつねてやかてお  
はしますとてやかて御琴のねをしるへにてた  
つね麦阿(御琴 御こと阿)

12 98 04 まいり給まいり給へり保言まいり給へれば

12 98 04 わざとわざとの保わざとは言  
麦阿

12 98 04 あそひとはナシ言

12 98 04 なくともなれとなとの給て麦阿

12 98 04 ひさしく久しう言

12 98 04 たえにたる たえにたえたる言 たえにける麦  
阿

12 98 05 めつらしき物のねなどめつらしき物ねなど  
「ものノ上カラめつらしう書ク陽ものねなど  
の保言物のねいとめつらしうこそ麦阿

12 98 05 かまほしかりつるかゝる麦阿

12 98 05 いとよういとよく保ナシ麦阿

12 98 05 給ける給へる言給てけれ麦阿

12 98 06 宮も 宮陽 ナシ麦阿

12 98 06 おましよそひてをましゝきて陽保麦阿

12 98 06 うちの御まへに 内御前に陽つちのおまへに  
麦阿

12 98 06 こよひ 今夜言麦阿

12 98 06 月のえん 月えん陽

12 98 07 あるへかりつるを あるへかりける保有へき  
を麦阿

12 98 07 とまりてにはかにとまりて保言とまりつ  
れは麦とまりつれば阿

12 98 07 さう／＼しかりつるにさう／＼しかりつる

を保言ナシ麦阿

12 98 08 きつたへてこれかれ聞て麦きこえて  
阿

12 98 08 などもなともあまた保なと言麦阿  
ク<sub>二</sub>麦

12 98 09 し給ふしたまひて保言麦阿

12 98 09 御ことよもの 御ことの保御ことよも麦阿 御  
とよめことよも麦

12 98 09 かきあはせてかきあはせつう言

12 98 09 おもしろきほといとをもしろきほとに  
保おもしろきに麦阿

12 98 09 よひのよひ／＼は麦阿

12 98 10 折はは言おり麦阿

12 98 10 中になかに陽なかにも言

12 98 10 こよひ 今夜言

12 98 10 あらたなる月の色にはあらたなるへき月の  
色は言

12 98 10 なを ナシ陽保言

12 98 10 わか世のわか(みぬイ)世の麦

12 98 11 ほかまて ほかまても言  
12 98 11 思なかさるれ 思さる言

12 98 11 故権大納言こ権大納言の陽保言こ大納言の  
麦阿

12 98 11 折／＼にもおり／＼も言

12 98 12 いと／＼いと保言

12 98 12 おほくおほかる中にもあそひのかたのもの  
はへはこよなうつせたる心ちそしける言

12 98 12 折ふしの ナシ保おり／＼言麦阿

12 98 12 うせたるうせにたる言

12 98 13 こそすれするかな保  
12 98 13 思ひはきまへ 思わきまへ陽保麦阿 いとよう  
思ひわきまへ言

12 98 13 いと ナシ言

12 98 14 物をなどの給ひ物をやとおほし言

12 98 14 身つからもみつから保

12 98 14 かきあはせかきならし言

12 98 14 御ことのおねことのおね言

12 99 01 給つ給つ麦阿  
12 99 01 みすのうちにみすのうちも陽みすのうち  
に麦阿

12 99 01 御心 御こち保

12 99 01 おほしなから おもほしなから保麦阿

12 99 02 まつこひしう まつなんこひしく保麦阿

12 99 02 おほしいてけるおもほしいてける保麦  
阿

12 99 03 こよひ 今夜言

12 99 03 えん 声麦阿

12 99 03 おほしの給おもほしのたまふ保麦阿 人々お  
ほしの給て言

12 99 03 ふたはたり二わたり陽保麦阿

12 99 04 れんせいゐんれせい院陽保 冷泉院言阿 涼  
泉院麦

12 99 04 より ナシ麦阿

12 99 04 御せうそこ 御せうそく保麦阿  
12 99 04 御せんの御あそひ おまへのえむ保 御まへの  
御あそひ言 御前の御あそひ麦阿

12 99 04 にはかににはいかに麦





13 00 10 ぶかう ぶかく陽保言麦阿  
 13 00 11 おもしろくおほしらく陽  
 13 00 11 のみ ナシ保言麦阿  
 13 00 11 こと ことは麦阿  
 13 00 11 まねふも まなふも言  
 13 00 11 かたはらいたくて かたはらいたく麦阿  
 13 00 12 ふみなと 文とも陽  
 13 00 12 とく人ノ人ノ保とところノ言  
 13 00 12 六条の院は 六条院の陽 六條院は言麦阿 六  
 条院(院)は麦  
 13 00 12 中宮の御方に 中宮御かたに陽  
 13 00 12 わたり まいり保  
 13 00 13 など ナシ言  
 13 00 13 いまは 今阿  
 13 00 13 かう かく保麦阿  
 13 00 13 御すまひに すまいにては麦阿  
 13 00 13 しはノも 心やすくしはノも保言 つねに  
 麦阿  
 13 00 13 まいりぬへく なにはなれと まいりぬへ  
 し何となれと 言まいりて麦阿  
 13 00 14 する 過る言  
 13 00 14 そへて すへて陽  
 13 00 14 わすれぬ わすれかたき保言  
 13 00 14 むかしの御物語 むかし物語麦阿  
 13 00 14 など なども保言 も麦阿  
 13 01 01 つけ給はり つけ給麦阿  
 13 01 01 きこえまほしう きこえなせまほしう保 聞え  
 まほしく言麦阿

13 01 01 おもひたまふるに おもふたまふるを陽保  
 言 思給ふるを言 思給るも麦阿  
 13 01 01 ありさま 有様麦  
 13 01 02 うるノしくうぬノしう陽言 よはノし  
 く麦阿  
 13 01 02 ところせくも 所せうて言  
 13 01 02 はれ われ陽保言麦阿  
 13 01 02 のちのちノの言  
 13 01 02 かたかたにつけて ナシ言  
 13 01 03 心ほそさの 心ほそさ陽保言麦阿  
 13 01 03 ノとめかたうのとめかたく保麦阿  
 13 01 04 おほえ おもほえ麦阿  
 13 01 04 侍れば 侍は陽 侍るを麦阿  
 13 01 04 よはなれたる よをはなれたる陽言  
 13 01 04 すまひにも やすまるにも陽保 すまるに  
 言すまひにや麦阿  
 13 01 04 やうノ ナシ麦阿  
 13 01 04 おもひたちぬる 思たち侍陽 おもふ給へたち  
 にたる保 思侍言 思たちたる麦阿  
 13 01 05 人ノノの 人ノノの保 人々も麦阿  
 13 01 05 たよはし給たよはしはさ陽保 たよは  
 せて言たよはし阿  
 13 01 05 などとさまノ 思給みたれていまて侍  
 言と阿  
 13 01 05 きこえつけし つけきこへさせし陽 きこえさ  
 せつけし保 申つけ聞えさせし麦阿  
 13 01 05 たかへす たかへす陽 たかはす言  
 13 01 06 おほしとめて おもほしとめて保 麦おも  
 ほしてめて阿

13 01 06 まめやかなる まかやかなる言  
 13 01 06 さまに 事とも陽言麦阿  
 13 01 06 きこえさせ きこえ陽保言麦阿  
 13 01 06 いと なをいと陽保  
 13 01 06 わかう わかく麦阿  
 13 01 07 ぶかう おほし言 ぶかく麦阿  
 13 01 08 おほつかなさの おほつかなさのみ言  
 13 01 08 おもひ給へらる 思給へらる 陽麦阿 おも  
 ふ給へらる 保 思ふ給らる 言  
 13 01 08 有様 ありさま陽保言阿  
 13 01 08 いと いと 陽  
 13 01 08 むつかしうて むつかしくて陽 麦阿 むつかし  
 づてのみなん言  
 13 01 09 そむきゆく そむきぬる陽 そむき給言  
 13 01 09 いとはしういとはしく保言麦阿  
 13 01 09 ことも 事言  
 13 01 09 そのえその陽 えその保 人にその麦阿  
 13 01 10 心のうちをきこえさせつけたまはらねはなに  
 事もまつ ナシ麦阿  
 13 01 10 なに事も なにことん保  
 13 01 11 ならひて ならひは入りて保言  
 13 01 11 いふせく いふせう言  
 13 01 11 侍とはへると保 侍入きと麦阿  
 13 01 11 きこえきこえさせ陽言麦阿  
 13 01 12 御さとぬも 御さとぬにも麦阿  
 13 01 12 よう よく保  
 13 01 12 まちつけ まちいて保言  
 13 01 12 きこえさせし 聞えし言

13 01 12 つけてかは ついてかは陽  
 13 01 13 させ ナシ麦阿  
 13 01 13 よといひなからも世といひなから言世とは  
 いひなからも麦阿  
 13 01 14 ありかたう ありかたく保麦阿  
 13 01 14 心やすかるへき うしろやすかるへき麦  
 阿  
 13 02 01 程ほとノ言  
 13 02 01 おもひかゝつらぶ おもひかゝぶるれる傍  
 記ニエズ陽  
 13 02 01 侍る 侍める陽保言  
 13 02 01 などか なとか保言  
 13 02 02 御たうしんは 御道心はつかせ給はん陽言麦  
 阿  
 13 02 02 ひかノしう ひかノしく保麦阿  
 13 02 03 こそ侍れ こそ侍陽  
 13 02 03 かけてもいとあるましき御ことになむときこ  
 え給をけになかきよのやみをおもひやるに  
 はかりそめのこのよのいさゝかなる人のもと  
 きはかりなどにおもひはゝからんもいとおさ  
 なるへきことなれとさなんはへりける御く  
 らぬをきはめよろつこのことこのよにあかぬこ  
 となき御みなれといまひきかへしすこしもよ  
 のうちかたふきぬへからんことはさらにおほ  
 しよらてなんよかるへきたうときみちを心さ  
 し御心ひとつをすませ給ともをんなの御み  
 はなにももいとゝゝころせきなんいとをしく  
 はへるときこえしらせ給を保  
 13 02 03 いと ナシ言麦阿

13 02 03 御ことになむと 御心になと麦阿  
 13 02 03 きこえ給を 聞え給ふをけになかき世のやみ  
 を思やるにはかりそめの世のいさゝかなる人  
 のもときなと斗に思ひはゝかるもいとおさな  
 かるへき事なれとをのつからさなん侍ける御  
 くらぬをきはめよろつこの事この世のあかぬこ  
 となき御身なれといまひきかへしすこしにて  
 も世のうちかたふくへからん事はさらにおほ  
 しよらてなんよかるへきたうとき道を心  
 さし御心ひとつをすませ給とも女御の御身  
 は何事も所せきなんいとをしう侍と聞えし  
 せ給を 聞え給ふをノを八校合力言  
 13 02 03 ぶかとも ぶかくも保麦阿  
 13 02 03 くみはかりたまはぬ おもはぬ麦阿  
 13 02 04 なめりかしとなむめりかしと陽なるへし  
 言なるへしと麦阿  
 13 02 04 つらうつらく保麦阿  
 13 02 04 宮す所ニ宮すところ保麦阿  
 13 02 04 なり つみをもきさまになり言  
 13 02 05 給らむ 給陽 給へらん保言麦 給つらん  
 阿  
 13 02 05 ありさま ナシ言 有様麦  
 13 02 05 中になかに保言  
 13 02 05 かけにても かけにも言  
 13 02 06 いてきけること いてきたりけんこと陽 いて  
 きたりけるを保 出給けること麦阿  
 13 02 06 いみじう かくいみじう陽麦阿  
 13 02 06 給ひける 給へりける麦阿  
 13 02 07 人のさぶらう人の麦阿

13 02 07 きこしめしけるのちきこしめしける後の  
 言聞しめしてけり麦阿  
 13 02 07 かなしう かなしく保  
 13 02 08 いみしくていみじうて陽いみしく保  
 13 02 08 世のよ保麦阿 世中言  
 13 02 08 いとほしくいとほしう陽麦阿  
 13 02 08 おほしなりておほしなり陽保おほしおも  
 ほし保なりぬはてゝ麦なりいてゝ阿  
 13 02 08 かりにても ちりはかりも麦阿  
 13 02 08 有様のありさまの陽言阿ありさまなどの  
 保  
 13 02 09 くはしうくはしく保言  
 13 02 09 きかまほしききゝたまはまほしき保  
 13 02 09 まを まほ言麦阿  
 13 02 09 きこえとひきゝ保 ナシ麦阿  
 13 02 09 御有様 御ありさま陽保言阿  
 13 02 10 かるからぬさま かるからぬさま保 かるから  
 んやう麦阿  
 13 02 10 あらはならても あらはれても陽 あらはなら  
 て麦阿  
 13 02 11 おしはかりつたへつへきをしはかりつへき  
 陽保言麦阿  
 13 02 11 侍りけれと 侍れと陽 侍れはと麦阿  
 13 02 11 わすれぬ わすられぬ麦阿  
 13 02 12 あなた あなたは保言麦阿  
 13 02 12 おもふ給へやらさりけるか おもふ給へもや  
 らさりけるほどの保思ひ給へやらさりける  
 か言 思給よらさりける麦阿  
 13 02 12 ものはかなさを はかなさを麦 はかなさをは

阿

13 02 12 いかてかく阿

13 02 12 ようよく保

13 02 13 すゝめをもすゝめを麦阿

13 02 13 ほのほをもほのほを保麦阿

13 02 14 侍りにしかなど侍てしかな麦阿

13 02 14 つもるよはひつもる麦阿

13 02 14 おもひしらるゝおもひしる陽麦阿

13 02 14 ことも事とも言

ヲ書ク陽

13 02 14 ありけるなどありけるなんとけノ上カラリ

13 02 14 かすめつゝそかすめつゝ保かすめつゝ麦

阿

13 03 01 けにさもけにとも言

13 03 01 おほしぬへきおもほしぬへき麦阿

13 03 01 あはれにナシ言

13 03 01 み奉り給ふてみたてまつり給て陽言おもほ

13 03 02 あしたの露あさ露陽保言麦阿

13 03 02 かゝれるゝノこれる麦阿

13 03 02 ほとはほとを保

13 03 02 思ひすてえおもふ給へすてぬ保え思ひすて

言

13 03 03 侍らぬになむなん保侍ぬるにも麦阿

13 03 03 もくれんかもくれんの麦阿

13 03 04 ためしにもためしにしも保

13 03 05 なる也麦阿

13 03 05 わさなりやうゝナシ麦阿

13 03 05 なりなりや保

13 03 05 さるナシ陽

13 03 05 かのナシ麦

13 03 06 はるへきはるくへき保麦はるゝへき言阿

13 03 06 給へ給へとあれは麦阿

13 03 06 おもひたまふる思ふ給陽おもふたまふる

保思給へらるゝ麦阿

13 03 06 こと侍りながらこゝろはありながら保事侍

なからも麦阿

13 03 06 ものさはかしきやうにナシ麦阿

13 03 07 ほしいも事麦阿

13 03 07 やうなるナシ保

13 03 07 有様ありさま陽保言阿

13 03 07 侍りつゝ給つゝ麦阿

13 03 08 つとめ御つとめ言

13 03 08 いま今は麦阿

13 03 08 おもひ給ふるも思給ふるも陽おもふ給へは

へるも保思給にも麦阿

13 03 08 ことなれことにはへれ保

13 03 09 世中よに陽よの保ナシ麦阿

13 03 09 なへてはかなくはかなくなへて保なへては

かなくいひなして麦阿

13 03 09 すてまほしきすてまほしき陽

13 03 09 ことをことをかたみに保

13 03 09 給へと給へれと麦阿

13 03 10 有様ありさま陽保言阿

13 03 10 うちしのひてたゝうちしのひて陽保言麦

阿

13 03 10 御ありき御まいりのさま言御ありきなりし

かと麦阿

13 03 10 けさはけさ陽

13 03 11 たまひてて麦阿

13 03 11 上達部とんかんたちめなど陽言麦阿かんた

ちめなとん保

13 03 11 御をくり御をくりに保言

13 03 12 春宮内麦阿

13 03 12 御有様御ありさまの陽保言麦阿ありさま有

様麦

13 03 12 いつきたていつきたてまつり陽麦阿いつき

すゑたてまつり保

13 03 12 かひゝしきもかるゝしも陽

13 03 13 御様御さま陽言御ありさま保麦阿ありさ

ま有様麦

13 03 13 いつれとなくいつれとなくやむことなく保

言

13 03 13 めやすしとナシ保

13 03 13 おほすに思ひきこえ給に保おもほすに麦

阿

13 03 13 このかの陽

言

13 03 14 思ひナシ麦

13 03 14 御心さし心さし言

13 03 14 おほえ給思きこえ給陽保おもほえさせ給麦

阿おもほえおほえ阿

13 03 14 院も院に麦院阿

13 03 14 つねにつねには麦阿

13 04 01 いふかしう ナシ陽ゆかしく保麦阿  
 13 04 01 きこえ聞えさせ麦阿  
 13 04 01 御たいめん 御たいめ麦阿  
 13 04 01 いふせう いふせく保  
 13 04 01 おほされける おもほされける保麦阿  
 13 04 02 いそかされ いそかれ麦阿  
 13 04 02 さまにとさまにも保  
 13 04 02 おほし おもほし保麦阿  
 13 04 02 なりける なりにける陽保なされける麦  
 阿

なりて麦阿  
 13 04 03 ならひさしならひ言  
 13 04 03 いまめかしうなか いまめかしく中ノ  
 保中ノいまめかしう言  
 13 04 04 よりもよりに陽より麦阿  
 13 04 04 御あそひをも 御あそひをもを八と力麦  
 13 04 04 なに事も なににも保  
 13 04 05 有様 御ありさま陽保ありさま言御さま麦  
 阿  
 13 04 05 たゝかの 此麦阿  
 13 04 05 御ことを 御こと陽 御ありさまを保  
 13 04 05 おほしやりつゝをほしやりて陽 おもほしや  
 りつゝ麦阿  
 13 04 05 をこなひの をこなめに陽麦阿 御をこなひに  
 保 御おこなひの言

13 04 05 御心 御心の保  
 13 04 05 すゝみにたるをすゝみたるを保すゝみたり  
 されとも麦すゝみたり阿  
 13 04 06 くとくそのかたのくとも言  
 13 04 06 たてゝたゝ麦阿  
 13 04 06 おほし おもほし保麦阿  
 13 04 07 いとゝいと保麦阿  
 13 04 07 心ふかつゝころふかく保麦阿  
 13 04 07 おほし おもほし保麦阿  
 13 04 07 さまにさまにのみ保さまになん麦阿  
 13 04 07 なりまさりたまふ なりまさり給六条の院もゝ  
 るころにいそぎ給て御はかつなとをこなせ  
 給とそ保なりまさり給六条院ももろ心にい  
 そぎ給て御八講などおこなはせたまふ言也  
 まさりたまひけるとそ麦阿